

「やりたいな、ぼくの気持ち 伝えたい」 ～子供のコミュニケーションの向上を目指して～

小出特別支援学校小学部1組 角屋香里 小堺遥



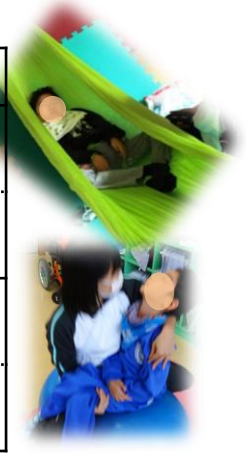
好きな活動を用意し、教師が「～しよう」と言葉掛けをする
できる動きの表出を待つ
表出された動きを児童にフィードバックする



指導の工夫	反応関係の意識化	→	見る・聞く・触れる・嗅ぐ等で知らせる
	サインの意識化	→	表出を待ち、選んだらすぐに行う
	表出の見取りの確認	→	表情・心拍数を確認する (パルスオキシメーターの使用)
	学習状態の最適化	→	覚醒状態・発作の有無を把握する 環境(明るさ・気温・湿度)を整える

心拍数と表情や動作の変化

		ハンモック	ピーナッツボール	足湯
A児	心拍	103→75	103→113	103→89
	様子	横になり、身体を屈曲させる	目を大きく開き時折笑顔になる	ほおづえをついてゆったりする
B児	心拍	100→59	100→93	100→78
	様子	目を閉じてゆったりする	横抱っこ: ゆったりする	目を閉じ舌を出してゆったりする



まとめ 今後の課題

- ビデオによる記録と評価、評価用紙での記録を丁寧に行うことで、児童の表出を客観的に行うことができた。
- 反応の強化と意識付けを継続し、サイン化につなげていく。